

令和 2 年 4 月 16 日現在

機関番号：32612
 研究種目：基盤研究(C) (一般)
 研究期間：2017～2019
 課題番号：17K02515
 研究課題名(和文) オクスフォード版『ジェイムズ・シャーリー全集』収録喜劇の現代校訂本を完成させる

研究課題名(英文) Editing a Comedy for the Oxford Complete Works of James Shirley

研究代表者
 英 知明 (HANABUSA, Chiaki)
 慶應義塾大学・商学部(日吉)・教授

研究者番号：60218518
 交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究で取り組む喜劇 The Brothers を含む本格的な『ジェイムズ・シャーリー全集』15巻が、オクスフォード大学出版局により2020年から順次刊行される。これは1833年以来の全集出版で、彼の喜劇 The Brothers の現代校訂本を完成させることを目標に据えた。

本作の「本文確定」をより精度を上げて実行するために、海外オークションで売りに出された Six New Plays (1653年刊行)のこれまで未知のコピー4冊を購入した。これらを使って本文の正確性の精度を上げ、このほか現代校訂本に不可欠な「イントロダクション」および「注釈」、「巻末付録」の完成準備を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ジェイムズ・シャーリーの劇作品で「現代校訂本」として近年出版されたものはほとんど無く、直近の『ジェイムズ・シャーリー全集』の出版は1833年である。このような中、オクスフォード大学出版局より本格的な新しいシャーリー全集が、2020年から出版開始となる。このプロジェクトに参加する唯一の日本人研究者として、シャーリーの喜劇 The Brothers の現代校訂本を完成させることには、大きな意義があると言える。本作の現代校訂本は第7巻に収録され、2020年以降に出版される。これにより、世界と日本の初期近代英国演劇研究者、またこの分野を学ぶ学部生や大学院生に広く貢献できるであろう。

研究成果の概要(英文)：The main aim of this project was to edit one of James Shirley's comedies, The Brothers, for the Oxford Complete Works of James Shirley (15 vols, to be published from 2020). In addition to more than twenty copies already collated, four hitherto unknown copies of Six New Plays, of which The Brothers was one, were purchased for completion of this project, thereby further enhancing the level of textual collation of the play. Research has been done for writing Introduction, footnotes, and appendices.

研究分野：英文学 イギリス文学 英国演劇 書誌学

キーワード：ジェイムズ・シャーリー シャーリー James Shirley The Brothers

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) シェイクスピア引退後の 17 世紀前半から半ばに到る英国演劇界で、ジェームズ・シャーリーはシェイクスピア以降の初期近代英国演劇を継承し発展させた代表的劇作家である。彼が活躍した期間 (1618 - 1661 年) に生み出された作品の数は膨大で、劇作のみに留まらず、詩や散文を含めるとその数はおよそ 50 作品超で、シェイクスピアが生涯を掛けて生み出した作品数、約 40 を凌駕している。それにも拘わらず、現代日本に於いて、大学や大学院、また東京をはじめとする劇場で彼の作品に触れる機会はほとんど稀である。出版界に目を向けても、彼の代表的な喜劇のひとつである *The Brothers* (1641 執筆) のみならず、彼の劇作品で「現代校訂本」として近年出版されたものは英国や米国を見渡してもほとんど見当たらない。直近の『ジェームズ・シャーリー全集』の出版が、1833 年以降絶無であるという事実が、潜在的に優れた作品を生み出すものの、なかなか演劇界や学界から注目されないという、この劇作家に与えられた試練と悲しむべき実態を物語っている。

(2) このような状況下で、17 世紀英国演劇随一の劇作家シャーリーの「新しい全集」の出版がようやく現実のものとなった。オクスフォード大学出版局より *The Brothers* を含め、悲劇、詩、散文を含む本格的なシャーリー全集が、2020 年から世界の読者と研究者に向けて広く提供されることとなった。この新たな全集出版というプロジェクトに参加する唯一の日本人研究者として、シャーリーの代表的喜劇のひとつである本作の現代校訂本を完成させることには、大きな意義があると言える。

2. 研究の目的

(1) 本研究の目的は、オクスフォード大学出版局が発行する『オクスフォード版ジェームズ・シャーリー全集』(全 15 巻構成で、2020 年から順次刊行開始予定)に収録予定の喜劇 *The Brothers* (1641) の現代校訂本完成の準備である。主幹編集者(英国人学者 3 名)から当喜劇の編集者に指名され準備を継続しているが、プロジェクト全体の編集作業が大幅に遅れており(2020 年の段階で 6 年遅滞)その影響で本作が収録される第 7 巻の出版時期の見通しはまだ立っていない。

(2) 本研究の目的の「中核」を成すのが、喜劇 *The Brothers* の「現代綴り版校訂本」の完成である。21 世紀の新しい『シャーリー全集』は、1980 年代後半から刊行が始まった『オクスフォード・シェイクスピア・シリーズ』(主幹編集者 Sir Stanley Wells ほか)の「単刊本」をモデルとしている。したがって *The Brothers* の現代校訂本編纂においても、正確な本文を現代綴りで編纂した上で、作品に関する多岐で詳細な解説を提供する「イントロダクション」を執筆し、本文には「注釈」を付けて読者および研究者の理解の一助とすることが求められる。また必要な場合は、「巻末付録」も付する。その意味で本研究は、『オクスフォード・シェイクスピア・シリーズ』とほぼ同形式の作業を、高いレベルでこなしていくことが求められる。

3. 研究の方法

(1) *The Brothers* は、世界に 60 冊以上古版本が残っている。正確な本文編纂を行うためには、それら全ては無理としても、少なくとも 20 冊以上の版本に含まれる本文を一行一行、一言一句漏らさず比較検討して精密に校合することが求められる。この作業が必要となる大きな理由は、当時の印刷紙が高価で、そのためロンドンの印刷所が「校正前」の印刷紙を敢えて破棄せず、そのまま「校正後」の印刷紙とともに製本所に回していたという事実に基づく。従って、同じタイトルの複数の古版本の中に「校正前と校正後の本文のばらつき」が存在する。これは当時の印刷

物にはよくあることで、厳密な意味で「正確な」本文を編纂するためには、本作の古版本を一冊ずつ丁寧に本文比較して全体的な「本文のばらつき」を正確に把握し、全ページで「校正後の本文」を決定しなくてはならない。

(2) この英国初期近代に特有の印刷慣行が、英米の著名な図書館に存在する多くの古版本調査の必要性を高め、本文比較を徹底することが大きな目的の一つとなっていた。そのため現地へ赴き、多数のコピーを一部ずつ参照するという時間が掛かり骨の折れるリサーチは、既に終わっている。しかし英米を主とした各大学図書館に収蔵されて所在がわかっているコピー以外に、海外のオークションなどでは、今なお未知のコピーが市場に現れては、売りに出されている。つまり、まだ「新発見」のコピーが世に多く存在しているということなのだ。そのため本研究では、旅費を使って海外図書館を回るという作業以外に、そうした「未知の新たなコピー」を入手して、それらを使ってさらに本文校合をし、本文編纂精度の「純度」を上げる作業を追加的リサーチとして行った。

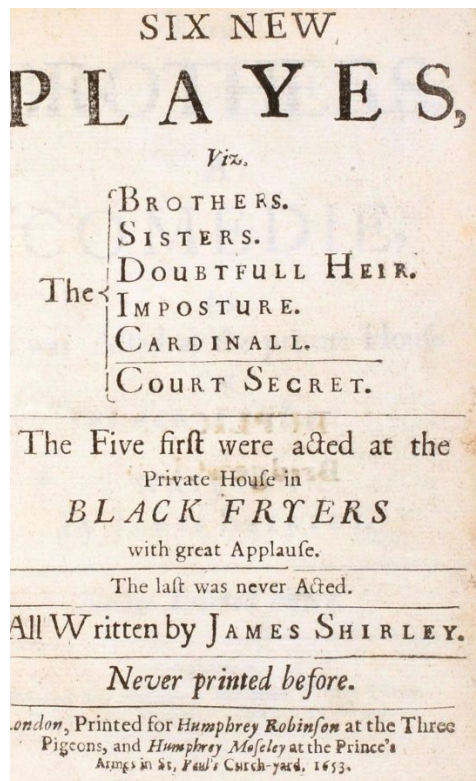
4. 研究成果

(1) *The Brothers* の「本文確定」をより精度を上げて実行するために、海外オークションで売りに出された古版本 4 冊を購入した。*The Brothers* は 1653 年に刊行された *Six New Plays* というシャーリーの「戯曲選集」に含まれており、この選集についても書誌学的リサーチを行うよう編集主幹から追加要請されたため、新たな古版本の購入はそうしたリサーチの質と利便性向上に大いに役立った。ちなみに *Six New Plays* には、*The Brothers* 以外に、*The Sisters*, *The Doubtful Heir*, *The Imposture*, *The Cardinal*, *The Court Secret* が含まれている。購入したコピーにはそれぞれ名称を付け、*Six New Plays* 1, *Six New Plays* 2, *Six New Plays* 3, *Six New Plays* 4 とした（ただし 4 は imperfect copy で、*The Brothers* と *The Sisters* を欠いた残り 4 作品のみを収録）。これらのうち *The Brothers* を含むコピー 1, 2, 3 について上記の「本文中に残る異同」を全ページに渡って調査し、「校正前後の本文のばらつき」具合を確認して本文の正確性をさらに一段と上げることが出来た。この新たなコピーの購入は、*The Cardinal* 等、他の劇作を担当している編者たちにも連絡を取り合いながら提供し、ある種の国際的共同研究として彼らの作業の進展に資することにもなった。

(2) *The Brothers* のテキスト分析は、この喜劇の本文調査のみに留まらない。*Six New Plays* を印刷した印刷所や編集業者（ハンフリー・モウズリーとハンフリー・ロビンソン）の当時の活動記録や販売リストの調査、またこの「選集」内で、6 作品をいかに分担印刷したか等につきリサーチを重ねた。また八つ折本で印刷された *The Brothers* のヘッドライン分析、植字工分析、使用された印刷紙のウォーターマーク調査にも挑んだ。

(3) 本文の正確性の精度を上げる作業以外に、現代校訂本に不可欠な「イントロダクション」および「注釈」の執筆と、作品理解を傍証的に補完する意味で付せられる「巻末付録」の完成準備も行った。「イントロダクション」執筆のため、本作の梗概作成や背景事情、執筆年代の推定、またシャーリーの喜劇群の中での位置づけや本作が活用する演劇としての伝統的スタイルと特徴的テーマ、上演に関する問題と本作が持つ未解決な課題の発掘に取り組んだ。「注釈」は現代校訂本を利用する読者に向けて、初期近代の難解な語句やフレーズの意味を解説することが大きな役割である。17 世紀半ばのオリジナルな英語を読み解くには、現代英語で置き換えるとど

のような言い回しになるかなど、スペリングや語彙、文法の細かい説明が必要不可欠となる。そのため、英語世界でもっとも権威のある Oxford English Dictionary を使用した。近年ではこれがデータベース化されており、慶應義塾大学図書館でこれが利用可能なため、これを最大限活用した。また芝居という作品の性質上、登場人物の心の動きや発話の正確な意味、また舞台上での役者の行動や位置取りを示す「ト書き」についての新たな解釈や、シャーリーの他作品との類似や相違なども検証した。「巻末付録」はその性質上、本作の一層の理解に資する情報をオリジナルのまま提供し、イントロダクションで議論した内容を補足するために歴史的文書や記述をそのまま掲載するものである。Six New Plays には当時の有名な貴族 Thomas Stanley への献辞が付されているが、先行する 1646 年刊行の Poems に掲載された詩との重複箇所がある。この点は、本作の背後にある重要な歴史的意味を持つと判断し、「巻末付録」に Poems の古版本から当該箇所をオリジナルなまま収録して、現代の読者に提供することにした。今後、本研究の成果は『シャーリー全集』第 7 巻として公刊される。



5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 英 知明	4. 巻 第14号
2. 論文標題 「シェイクスピアの贋作・偽作・改作」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『書物學』	6. 最初と最後の頁 16 - 24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 英 知明	4. 巻 11
2. 論文標題 シェイクスピア 疑惑のテキスト	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 書物學	6. 最初と最後の頁 2 - 11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 英 知明
2. 発表標題 「偽作、贋作、改作 中世、そして中世を超えて」
3. 学会等名 第90回日本英文学会全国大会（東京女子大学、5月19日）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 英 知明
2. 発表標題 The Material Book 書と書物と印刷所
3. 学会等名 エリザベス朝研究会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----